
恋人は幽霊

みゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋人は幽霊

【Nコード】

N82440

【作者名】

みゆき

【あらすじ】

人間は死んだらどうなるのだろうか？

天国って本当にあるのかな？

誰もが一度は心に抱いた事のある疑問だ。

これは私が創造した死後の世界と、『幽霊』の物語である。

プロローグ

幽霊なんているわけない。

そんなのただの空想だ。

そうゆう人はこの世の中にごまんと居るだろう。

率直に、見たことがないから信じられないのだろう。

なら、

幽霊が見える、触れられるといった、俗に『霊能力者』と呼ばれる人々は、どれくらい存在するのだろうか？

ここである少女の話しよう。

木下麻美17歳。

見た目も中身も普通の高校生である。

ただし一点をのぞいては…

彼女は幽霊を感じる事ができる人間『ユール』の1人だった。

私は彼女を、彼女が生まれた瞬間から、彼女の一番近くで、今までずっと見守ってきた。

彼女が元気な時も、落ち込んだ時も、いつだってそばにいた。

彼女が悲しんでいる時はその涙を乾かし、

眠りにつくときには、暖かく包みこみ、幸せな夢を与え、

時には、困難となる向かい風になった。

そう。

私は彼女の守護霊。

名前はミクル。

意味するものは『風』。風を司る霊の1人だ。

つまり私は『幽霊』なのだ。

これは、私と麻美との交流を描いた、真実の物語である…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8244o/>

恋人は幽霊

2010年11月10日04時32分発行